

# 令和5年度 第4回 城北小学校運営協議会



令和6年2月1日（木）

浜松市立城北小学校

## 第 4 回 城北小学校学校運営協議会

令和6年2月1日

14:30~16:00

会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭 記録：中村>

- 1 会長挨拶（岩井会長）
- 2 校長挨拶（校長）
- 3 議長の選出 <出席した委員の互選>
- 4 前回会議録確認・・・資料1
- 5 熟議 <司会：議長 岩井会長>
  - (1) 学校関係者評価・・・資料2  
(「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む)
    - ①本年度の教育活動の説明
    - ②学校評価を元にした分析結果と改善案についての説明
  - (2) 来年度の学校運営の基本方針・・・資料3
  - (3) 学校運営協議会の自己評価・・・資料4
  - (4) 夢育やらまいか（CS加算分）報告
- 6 報告 <司会：教頭 記録：中村>
  - ・学校支援コーディネーターから・・・資料5
    - ①11月～1月の城北小サポーター活動実施報告
    - ②「コミスク便り③④号」発行について

### 7 連絡

- (1) 次年度第1回 

令和6年4月25日（木）14:30~16:00
-------------------------

 会場：会議室
- (2) 会長・副会長の確認
- (3) 次回の議長の選出
- (4) 次回の熟議内容の確認

閉会

## 学校運営協議会委員

会長	いわいく みこ 岩井弘美子
副会長	かわしま まさゆき 川嶋 正幸
委員	なかがわ かつお 中川 勝夫
委員	たかやなぎ みちこ 高柳 理子
委員	なかがわ ともひろ 中川 智博
委員	しみず ひろと がっこええん 清水 裕人 (学校支援CD)
委員	かみうえ りえ がっこええん 紙上 理恵 (学校支援CD)
委員	やまぎし えり 山岸 絵里
委員	もり さとこ 森 聖子

## オブザーバー

静岡大学	おおの きりゅうたろう 大野木龍太郎
はままつ青少年の家	いのした しゅんすけ 井下 俊輔
高台協働センター	かわにし ひろあき 河西 博昭
高台協働センター	やまぐち ともあき 山口 朋章

## 学校

校長	やまうち としひろ 山内 登志弘
教頭	こじま すみか 小嶋 澄華
C S 担当教職員	すずき ひさこ 鈴木 久子
C S ディレクター	なかむら あさみ 中村 朝実

## 浜松市教育委員会

教育総務課	すずき ようこ 鈴木 陽子
-------	------------------

## 学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和5年 4月27日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校運営の基本方針について ①「やさしい」心を育てるために (2) いじめ防止等のための基本的な方針 (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について  報告 (1) サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画 (2) 学校コーディネーターから ①4月の城北小サポーター活動計画 ②やらまいかについて	
2	6月8日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 「やさしい」心を育てるために ①「いのちについて考える日」の実践について (2) 学校評価の評価項目について  報告 (1) 4・5月の実践について	
3	10月19日 木曜日 14:00～15:30 会議室  授業参観 13:30～14:00	(1) 「やさしい」心を育てるために ①城北小学校いじめ防止基本方針について (2) 学校がかかえる課題と改善案  報告 (1) 6月以降の実践について	学校運営協議会自己評価 実施について依頼 ⇒R5. 12. 1締切
4	令和6年 2月1日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校関係者評価 ① 本年度の教育活動の説明 ② 学校評価を元にした改善案についての説明 ③ 改善案についての熟議 (2) 来年度の学校経営の基本方針説明 (3) 来年度のCS活動の計画案※CS活動の説明 (4) 学校運営協議会の自己評価  報告 (1) 夢育やらまいかCS加算分報告	学校運営協議会自己評価 教育委員会への提出締切： R6. 2月末日

- 1 開催日時 令和5年 10月19日（木） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子  
清水 裕人、紙上 理恵、山岸 絵里、森 聖子
- 4 欠席委員 中川 智博
- 5 オブザーバー 井下 俊輔（はままつ青少年の家） 河西 博昭（高台協働センター）
- 6 学 校 山内登志弘（校長）、小嶋 澄華（教頭）、中村 朝実（CSディレクター）  
松原 利治（生徒指導）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実

10 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、川嶋委員より岩井会長を推薦する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。

11 協議事項

(1)「やさしい」心を育てるために

- ①城北小学校いじめ防止基本方針について
- ②取組状況と自己評価

(2) 学校が抱える課題と改善策

12 会議記録

司会の小嶋教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)「やさしい」心を育てるために

- ①城北小学校いじめ防止基本方針について
- ②取組状況と自己評価

議長の指示により、松原生徒指導主任から城北小学校いじめ防止基本方針・取組状況と自己評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 子供たちは何がいじめになるのか分かっていないことも。何をいじめと捉えるのか道徳などで理解する場があると良い。いじめになっていると分かっていない可能性もあり得る。  
保護者が気軽に先生に相談できる場があると良い。異性の先生に声を掛けられると言えない子もいるかもしれないので、保健の先生が同席するとか、どの先生なら言える？と聞くと子供たちの小さな声に気付けるかもしれない。  
先生方は大変な時だけ声を掛けるのではなく定期的に声掛けをし意見交換できると良い。  
(森委員)
- ・ 子供が親にあったことを言えるかどうかで変わる。  
話してくれてもどう声掛けするのが正解なのか難しい時もあるので、学校から親の声掛けの仕方についてアドバイスをもらえると良い。(紙上委員)
- ・ 子供たちの様子を見ていても何がいじめかはすごく難しい。「もう遊ばない！」と言

っていても2～3日で仲良しに戻っていたりする。(中川委員)

- ・いじめの未然防止といじめの起こらない人間関係は難しい。何か起きたときに、いじめになるよ、〇〇だよと大人が教えてあげることが大事。いじめがあったときに先生がどう対応するかを見せて教えてほしい。どうしていけないのか？人によってやり方も違うし、同じ事を言っても人によって捉え方も違うから、その時にどうフォローできるかが大人の役目。(川嶋委員)
- ・子供の発達段階の違いがあるから理解できないときもある。発達段階に合わせて対応することが大切。対応の仕方の積み重ねが人を作っていく。(岩井委員)
- ・個々の特徴、特性をみて普段の様子を担当の先生に分かってもらい、傷つきやすい子にはその子その子の対応が必要。保護者が担任に言いにくいときはどこに相談したら良いのか分からない。(山岸委員)

→遠慮無くいつでも言ってほしい。来校、電話なんでも大丈夫です。(松原生徒指導主任)

- ・いじめによって学校に行けなくなり教育の場が奪われたり、いのちに関わったりするものは早期発見しできるだけ早く対処していく必要がある。(森委員)
  - ・クラスがうるさくてクラスに行けなくなるのはいじめになるのか。(紙上委員)
- 他の先生もクラスに入って対応している。その子の特性もあるのか考え、医療支援や発達支援が入る事もある。(松原生徒指導主任)
- ・親子が会話し、親の思いや考え方を伝えていく事が大切。(岩井委員)
  - ・学校に言って良いのかずっと悩むより、言ってみると良い。意見が聞けたり分かったりすることがきっとある。(高柳委員)
  - ・学校から「何かお困りごとがあればいつでも言ってください」みたいな発信をしてほしい。(森委員)

## (2) 学校が抱える課題と改善策

教頭より、コロナの3年間を境に子供たちは大きく変わった。経験値が大きく違い、人との関わり方や集団の場でどのようにすればよいのか分からなくなっていると感じる。子供を今後どう育てて行くのか、意見を聞かせてほしいとの提案があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・子供たちが自分の気持ちを言い伝える事が難しくなっていると感じる。価値観が多様化しすぎて難しいが、リアルで人と人が関わらないと育たない。(井下さん)
- ・コロナを経験したことは重要。それほど子供たちが変わった印象はない。(河西さん)
- ・今の中学生は我慢我慢で大変だったが、これからの世代だから期待している。(森委員)

## その他報告事項等

学校支援CDから

- ① 7～9月の城北小サポーター活動実施報告
- ② 「コミスク便り(9月号)」発行について

司会から、次回会議は、令和6年2月1日(木)14時30分より城北小会議室で開催する旨の報告があった。

## 5 熟議

### (1) 学校関係者評価

(「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む)

- ①本年度の教育活動の説明
- ②学校評価を元にした分析結果と改善案についての説明

## 令和5年度 城北小学校 学校評価

資料2

### 1 令和5年度の取組

(キャリア教育で育てたい力 ♥人とつながる力 ♠自分の良さに気付く力 ◆課題に取り組む力 ♣チャレンジする力)

【徳】 みとめ合う子	【体】 きたえ合う子	【知】 みがき合う子
「ひと・もの・こと」にかかわり、命や心を大切に育てます ♥子どもたちで話し合い問題を解決できる場の設定 ♥相手の気持ちを考えて話すための工夫	進んで挑戦し、最後までやり抜く子を育てます ◆自分の課題を見つけるための工夫 ♣進んで運動に取り組む場の設定	課題をもち、学び合いを通して、よりよく解決する子を育てます ♥考えを深めるための場の設定 ♣学ぶよさやつながりを実感させる工夫

### 2 自己評価 (回答数：児童 420/433 教師 25/28 保護者・地域 356/449)

項目内容 「城北小の子どもたちは～」1～10, 12		「そう思う ・まあそう思う」%		
		児童	教師	保護者 地域
みとめ合う	1 友達と仲良く過ごしている。	88.8	100	95.5
	2 明るいあいさつや返事をしている。	79.1	88	83.7
	3 相手の気持ちを考えて、やさしい言葉を使っている。	76.7	60	74.7
	4 自分の命も、友達の命も大切だと思っている。	95	84	86.2
	5 自分の良さを見つけることができている。	65.2	80	81.7
	6 友達の良さを見つけることができている。	87.4	84	84.6
きたえ合う	7 授業中、めあてを意識して、運動や学習に取り組んでいる。	84.8	96	83.4
	8 外に出て元気に遊んだり、運動したりしている。	87.1	92	91
	9 学習カードなどを使って、運動や学習に自分からチャレンジし、最後までやり抜こうとしている。	75	80	78.6
みがき合う	10 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら学習をしている。	86	88	82.3
	11 職員は、指導方法を工夫して、分かりやすい授業をしようと努めている。	86.9	96	86.5

キャリア	12 キャリア教育で身につける4つの力（♡◇♣♠）を知っている。（職員は意識して授業を行っている。）	77.6	64	59
学校	13 職員は、「いじめは決して許されない」という姿勢で子供たちの指導を行っている。	86.2	96	83.4
	14 職員は、子どもや保護者の話をよく聞こうと努めている。		96	88.2
	15 学校は、保護者、地域の人たちの協力を得て教育活動の充実に努めている。		90	90.4

### 3 評価からの分析・考察

- ・友達の良さは見つけられるが自分の良さを見つけられない傾向があり、自己肯定感の低さが職員や保護者の感じるそれと違いが見られた。
- ・「やさしい言葉を使っている」児童が8割未満であり、教員が感じている割合はもっと低かった。
- ・学習の取り組みは意欲的に友達と交流しながら行うことができているが、最後まで粘り強くチャレンジする場面に苦手を感じる傾向が見られた。
- ・キャリア教育で身につける4つの力の理解がまだ浸透していない。
- ・「いじめは決して許されない」という意識は高い。児童に行っているアンケート結果や面談を大事にし、気になることは職員間で共有し、組織で対応したり、支援したりすることを続けていることもその要因であると考えられる。

### 4 今後の改善方策

- ・子どもたちの自己肯定感を上げるために、大人がもっと認める場面を増やしたり、子供たち同士の関わりの中でお互いの良さを認められるように交流場面を増やしたりする活動を設定する。
- ・「やさしさ」を合言葉に、やさしさを形にするための5つ方法を浸透させ、自分や友達を思いやる心を育てる。
- ・チャレンジする場面を運動面以外にも広げていくようにする。子どもたちとの感じ方の違いに目を向け、子どもの気持ちに寄り添った活動を行う。今後も意識していきたい。
- ・引き続き、キャリア教育で身につける4つの力について、授業や行事の活動の中で紹介したり、カードを提示したりして、意識化を図る。
- ・「いじめ防止基本方針」を全職員で見直す。また、日頃から子どもたちの話に耳を傾け、これからも「いじめは決して許されない」という姿勢で対応していく。

### 5 学校運営協議会による学校関係評価



# 令和6年度 浜松市立城北小学校 グランドデザイン(案)

「第3次浜松市教育総合計画」 はままつ人づくり未来プラン

【教育理念】

- ☆ 未来創造への人づくり
- ☆ 市民協働による人づくり

【目指す子どもの姿】

- ・自分らしさを大切にする子供
- ・夢と希望を持ち続ける子供
- ・これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供

【学校教育目標】

【校訓】「正しく 強く 美しく」

## 友と仲良く よく遊び よく学ぶ子

♥つながろう ♣気付こう ◆解決しよう ♠チャレンジしよう

【目指す子供の姿】 【本年度の取組の重点】

### みとめ合う子

「ひと・もの・こと」にかかわり、命や心を大切に育てます

- ♥相手の気持ちを考えて話すための工夫
- ♠自己肯定感を高めるための工夫

### きたえ合う子

進んで挑戦し、最後までやり抜く子を育てます

- ◆自分の課題を見つけるための工夫
- ♠進んで課題に取り組む場の設定

### みがき合う子

課題をもち、学び合いを通して、よりよく解決する子を育てます

- ♥考えを深めるための手立て
- ◆学ぶよさやつながりを実感させる工夫

### 【合言葉】「やさしさ」

やさしさを形にするための5つのめあて  
目、口、耳、手足、心、の使い方を考えよう

### キャリア教育で育てたい力

～生涯にわたり自分磨きをし、ウェルビーイングを実現するために～

- ♥人とつながる力
- ♠自分の良さに気付く力
- ◆課題を解決する力
- ♣チャレンジする力

【目指す学校像】 一人一人の笑顔溢れる楽しく温かい城北小

【目指す教師像】 チームの一員として持ち味を生かし、子供とともに成長する教師

#### 【 家庭 】

- ・基本的生活習慣の定着（早寝、早起き、朝ごはん等）
- ・はままつマナーの啓発
- ・家庭学習の奨励

#### 【 地域 】

- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・城北小サポーターとの連携（学習支援、環境支援など）
- ・安心安全な町づくりの推進

#### 【中学校区】

- ・小中学校の連携
- ・健全育成会活動の推進（見守り・いい声掛け運動）
- ・家庭の教育力啓発活動

### 地域とともに歩む学校（コミュニティ・スクール）

(様式 1)

令和 5 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 ( 城北小 ) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・サポーター登録者が増え、その活用も効果的で、CS 活動は直実に充実・発展してきていると思う。更なる学校への関心や意識を高める工夫をしていきたい。
- ・次は〈協働〉について一步進めたい。お互いの活動や方向を整理し、まずは共有化し、共同で取り組んでみる。

＜評価項目 1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・年度初めに学校長より、城北小が目指す教育、特に「やさしさ」を重点とした理由など、熱い思いをわかりやすい説明があり、納得でき、共有することができた。
- ・各委員が互いに疑問や意見を出し合い、学校側も少しでも疑問があれば丁寧に説明してくださり、学校の方針を理解しながら、各委員の意見も尊重しつつ、皆で熟議できた。

＜評価項目 2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・城北小サポーターも 4 年目を迎え、順調に登録者も増えて学習支援や環境支援、生き方指導の支援等、活動が盛んになってきている。学校運営協議会の役割、その他地域で補佐する役割（夏休みの子供の居場所づくり）など熟議し、分担して活動できた。
- ・どの委員も、地域愛と子供たちのためにと、それぞれの立場での建設的な意見が多く、精度の高い熟議ができていると思う。運営協議会委員の輪・和・話・笑も広がり、常に動き出せる体制はできている。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・保護者や地域へ周知する内容は、コミュニティー・スクールだより、地域回覧、ポスター、さくら連絡網等で、常に新鮮・的確・効率よく発信している。協議会の記録は毎回発行され、共有化を図り、着実に積み上げている。
- ・今後、地域とのつながりが必要となる。そのためには、学校支援活動の現状を積極的に発信する等して、学校への意識を高め、学校の現状や教育活動への理解を深める新たな情報発信が必要である。「やさしさ」を中核に、つながりの輪を広げる方策を考えたい。

#### <評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校と地域との結び付けを強め、「協働」という価値観の中で、互いに協力し合える関係を築いていきたい。「やらまい會」の体制を見直して、地域団体との協働を実現できるような方策を生み出していく。
- ・サポーター拡大・充実のために、「やさしさ」の側面から、命の大切さや、心の豊かさ、生き方等、ソフト面の充実に向けて、眠っている地域人材を発掘し、様々な人の生きざまに触れるような活用方法を工夫し、学校と地域とつなげていきたい。
- ・子供の命や安全を守るために、地域から「放課後の居場所づくり」「朝の声掛け運動」「交通見守り隊」等、側面からの支援の声があがっているので、協働してやっていけるよう熟議し、実現していきたい。

#### (4) 夢育やらまいか（CS加算分）報告

事業費（花壇整備活動）	60,300円
合計	<u>60,300円</u>